



銅 鐘

寛政7年6月9日（1795年）、10万人講中として完成までに66年の歳月をかけてつくられたものである。享保14年（1729年）より作り始められた。今でも12月31日の夜、僧侶の煩悩を取り除くため多くの参拝者の手により打たれ続けている。全高20センチ（鐘13センチ）経56センチ。

村 指 定	重要文化財
所 在 地	伊南村大字古宮 昭2025番地
管 理 者	金光山照国寺
指定年月日	昭和57年8月31日